



# NPOフォーラム・だより 1

NPO法人 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム  
〒294-0047 千葉県館山市八幡 822 TEL&FAX:0470-22-8271  
npo@internet-ex.com http://www.internet-ex.com/npo/index.html

## いよいよ、「戦後60年」のアツイ夏です！ ～ 南房総平和フェスティバル2005

私たちのNPOでは、<平和・交流・共生>の理念を地域づくりに活かすことを活動方針の1つにしています。今夏は二度とない「戦後60年」という還暦の節目に、「子どもたちに平和を手渡そう！」を合言葉に諸団体と連携を図り、「南房総平和フェスティバル2005」という一連の催しを実施しています。とくに、地域の歴史に基づいた2つの草の根国際交流は、子どもたちに平和な未来を手渡すための種蒔きとなるでしょう。それぞれの催しを成功させるために、皆様のご協力とご参加をお待ちしています。

### 「日韓友情年 2005～たてやま日韓子ども交流」 7月26日～29日

日韓国交正常化40年を期し、韓国から浦項(ポハン)製鉄西初等学校の児童20名が来日し、館山の児童とともに、歴史探検や自然体験・音楽交流を行ないます。未来の平和を次代にバトンタッチする種蒔きです。

### 「虹のかけ橋～ウミホタルとアワビが結ぶ日米交流」 9月3日 南総文化ホール

第1部: 館山発、合唱組曲『ウミホタル～コスモブルーは平和の色』初演コンサート

第2部: 太平洋をわたった房総のアワビ漁師～モンレーの日系移民

関連資料展: たてやま夕日海岸ホテルにて 8月5日～9月11日

## ガイドツアーなどのお知らせ

参加できる日程をお知らせください。勉強のための随行も大歓迎！

7月21日(木)	10:00～12:00	袖ヶ浦高校リーダー研修(70名)	蓮沼・飯塚・鈴木以・小沢
7月22日(金)	8:30～12:00	「かにた村」支援(バザー駐車場係りなど)	君塚・鈴木恵・岡崎
7月23日(土)	11:15～14:30	君津市久留里城址資料館(30名)	佐藤ひ・鈴木以
7月26日(火)	9:00～12:00	世田谷学園中学	蓮沼・佐藤ひ・君塚・庄司・金久お・増岡・小沢・富樫・鈴木・林
7月28日(木)	9:00～12:00	世田谷学園中学	蓮沼・佐藤ひ・君塚・鈴木政・富樫・鈴木・林
7月30日(土)	調整中	船橋キリスト教(5名)	
8月2日(火)	10:00～16:00	市民ネットワーク千葉県(25名)	三平
8月2日(火)	18:00～	<NPO勉強会>	
8月4日(木)	11:00～15:00	ちばコープ船橋東地域協議会	
8月4日(木)	12:00～15:00	松戸青少年会館(小学3～6年生:20名)	
8月5日(金)	10:30～15:00	印旛郡社会科研修(15名)	
8月6日(土)	13:00～	<市原平和の会:原爆の日記念平和講演/愛沢伸雄・池田恵美子>	
8月7日(日)	10:00～12:00	立正佼成会(高校生:50名)	
8月10日(水)	8:30～12:00	鋸南町公民館	
8月18日(木)	13:30～16:30	九州大学OB会(8名)	
8月19日(金)	9:30～12:30	千高教組君津支部女性部(12名)	
8月25日(木)	11:00～15:00	茂原市教育委員会(30名)	
8月26日～28日		文化財全国協議会(25名)	

7・8月は、戦跡サークルと里見氏の勉強会はお休みです。

## ガイドスタッフ大募集！

去年は1年間で200団体延べ4,500名のガイド依頼がありました。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

NPOは、ガイドばかりでなく、1人1人の得意分野を活かす場です。お仲間を誘って、輪を広げましょう。

通信費のこと ... 戦跡サークル会費納入者は減免無料です。

今年度より通信費をお願いしています。未納の方は、郵便振替00100-0-334130へ1,000円をお願いします。

文化

小高い山の中腹にぼかり開いた真つ黒な口。懐中電灯を手に中に入ると、総延長二キロに及ぶトンネルから冷気が伝わってくる。「ここ赤山地下壕は旧海軍航空隊の秘密基地だったんです」。私の説明を聞きながら、左右を見回すガイドツアーの参加者たち。六十年前の戦争が、まるで昨日の事のように思えてくる。

房総半島の南端、千葉県館山市。お花畑に海水浴と、首都圏の観光スポットとして知られるこの土地も、戦前は首都・東京を防衛する要塞になっていた。一九三〇年に館山海軍航空隊が置かれ、四一年に落下傘兵などの特殊部隊を養成する館山海軍砲術学校ができた。戦争末期には本土決戦の主戦場の一つとして、約七万人の兵力が集結していたという。

今でもどこかな丘に戦闘機を隠す「掩体壕」が眠り、静かな海辺には特攻艇「震洋」の発進台が残る。地元の高校の社会科教師をしていた私は十五年ほど前から館山と戦争のつながりに着目し、こころした「戦争遺跡」の調査を続けてきた。

米軍の攻撃から戦闘機を隠した掩体壕 (千葉県館山市)

十周年の節目だったので、地元有志で住民から戦争の話聞いた。この時、館山に全国でた力所、航空兵器の整備要員を養成する「洲ノ埼海軍航空隊」があったことなどが分かった。写真を添えて展示会を開いたところ、来訪者が口々に「今後も続けるんですし、うちらも聞き取りを通して」

「証言を集めた。域から戦争を見る」をテーマに、特に住民からの聞き取りに力を入れた。事前に防衛庁の防衛研究所図書館などに通い、南房総の戦闘記録をつぶさに拾って整理。それを基

戦中は花作り禁止もちろん、聞き取りだけでは分からないこともある。館山湾を見下ろす赤山の地下壕はその代表格だ。三〇年代から秘密裏に整備が始まったと

例えば米軍が硫黄島上陸の事前作戦として館山周辺の航空基地に大規模な攻撃を仕掛けた時のこと。「四五年二月に千機ほどの米軍機が館山にきたらしうけど」と尋ねると、「そうそう、あの時は機銃掃射が激しくてね」と話が始まる。ぼやけた記憶の輪郭が徐々にはっきりしてくる。

約三十人いるガイドの説明を聞いた人は、意外な事実「へえ、ほう」と感心してくれる。住民が語ってくれた戦争の歴史を、この活動を通じて少しでも多くの人たちに伝えていきたい。(あい文化財・戦跡保存活用フォーラム) 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム理事長

首都防衛 館山の秘密基地

◇南房総の旧軍遺跡を調査、地域から戦争を見る◇

愛沢 伸雄

